

介護施設 多機能型に

セントケア 点滴など一部医療も

介護大手のセントケア・ホールディング(HD)は介護と併せて点滴などの一部医療サービスも提供する施設を新設する。年内に第1号施設を開き、2015年度までに10カ所に増やす。

1施設あたり最大25人が利用可能。退院直後で体力が衰えた高齢者などが必要な時に施設サービスを受けやすくし、生活の中心を自宅に置く在宅介護を後押しする。

在宅利用者を支援

まず12月に和歌山市に新施設を開設する。駐在する看護師が医師の指示に基づき、高齢者に医師から処方された薬の適正な管理を指導したり、点滴や胃や腸に直接栄養補給をしたりする。



高齢者が必要とするサービスを受けやすくする(セントケアHDの拠点)

介護保険法の改正で昨年4月から、日帰りのデイサービス施設と短期宿泊可能なショートステイ施設の機能を併せ持つ「小規模多機能施設」で看護師による一部の医療行為が可能になった。だ

が介護各社では血圧測定程度にとどまっていた。セントケアHDは2016年3月期までに小規模多機能施設を現在の2倍の44カ所に増やす。このうち都市部を中心に10カ所で医療も提供できる

ようにする。自宅の訪問介護や看護サービスも組み合わせる。

国や自治体は資金面で運営を補助してきた特別養護老人ホームの新規開設を厳格にする一方、病院を退院した高齢者が自宅を中心に生活できる基盤づくりを進めている。

セントケアHDは今後在宅介護が中心になれば、医療サービスも受けられる施設の高まりを判断した。

介護施設の機能拡大では、認知症の高齢者が入居するグループホームの国内最大手、ニチイ学館もグループホームに日帰り介護サービスなどの施設の併設を進める。今月初めに新潟市と愛知県一宮市の併設型拠点を設けた。日帰りサービスなどを利用しながら、認知症が進んだ場合にはグループホームに受け入れる。

同社は14年3月期にグループホームを前期末より15カ所多い262カ所にする計画。現在約30カ所の併設型拠点を順次増やしていく。

セントケアHDやニチイ学館は、こうした高齢者施設の積極展開に必要な人材の採用や育成にも力を入れる。セントケアHDは介護現場を管理する施設長に育成するため、14年春入社社員を13年実績の2倍弱となる120人採用する計画。ニチイ学館は14年入社の新卒を2.5倍の500人採用する。

民間企業の高齢者施設サービスの概要

名称	サービスの概要
デイサービス	食事や入浴、身体の機能回復訓練をする。日帰りで自宅と施設との送迎付き
ショートステイ	介護をする家族の負担軽減などを理由に、連続30日間まで宿泊できる
小規模多機能	定員が25人と少人数で食事や入浴、宿泊ができる。自宅での訪問介護サービスも。12年4月から看護師による医療行為も一部可能に
グループホーム	認知症の高齢者が1フロアに5~9人で共同生活する